

当社地中設備との近接工事に関する注意事項

2026年7月

東京電力パワーグリッド株式会社

目次

1.	システムより調査可能な設備	3
2.	各分類におけるシステムの使い分け	4
3.	当社設備に近接する小規模工事の協議フロー	5
4.	当社設備に近接する小規模工事以外の概略協議フロー	6
5.	システム入力時の注意事項	8
6.	当社が提供する図面の見方	8
6-1.	地中送電設備の図面	8
6-2.	地中配電設備の図面	10
7.	当社が提供する図面に対する注意事項	11
8.	当社設備との標準離隔	11
9.	協議における注意事項	11
10.	当社設備の現状把握	12
11.	協議証の掲示と立会・パトロール	13
12.	作業中止や工程変更等の連絡	14
13.	その他	14
	別紙 1. 埋設物調査, 計画・設計・施工協議, 立会確認フロー(小規模工事以外)	15
	別紙 2-1. 測量要否(全体フロー)	16
	別紙 2-2. 測量要否(非開削洞道)	17
	別紙 2-3. 測量要否(開削洞道・マンホール)	18
	別紙 2-4. 測量要否(推進管路, シールド管路)	19
	別紙 2-5. 測量要否(小口径推進)	20
	別紙 3. 影響度検討要否(全体フロー)	21

1. システムより調査可能な設備

■ 設備照会・施工協議システムで調査可能な設備は下表のとおりです。

分類	設備	設備図例		
	地中送電設備	管路(かんろ)  橋梁 	マンホール  ※共同溝は調査不可です	洞道(どうどう) 
	地中配電設備	管路(かんろ)  橋梁 	マンホール 	ハンドホール 
調査不可	地中配電設備 (地上機器)	地上機器 		
	架空配電設備	電柱・架空配電線 		

2. 各分類におけるシステムの使い分け

- 設備照会・施工協議システム内には「設備調査」と「施工通知」の 2 つの入口があり、それぞれの使い分けは下表のとおりです。
- 地中送電設備と地中配電設備で設備管理部署が異なります。連絡先は当社 HP の事業所一覧より確認をお願いします。
- 地中配電設備における小規模工事の工事立会依頼は、FAX で連絡をお願いします。

FAX の連絡先は、当社 HP の事業所一覧より確認をお願いします。

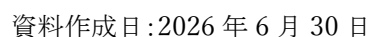
分類		地中送電設備	地中配電設備
小規模工事 (※1)	工事照会	施工通知	施工通知
	工事立会依頼		FAX
小規模工事 以外	埋設物調査	設備調査	
	協議	施工通知(※2)	
	工事立会依頼		

※1:東京都内 23 区内において企連協が定義する新築ビル引き込み工事や、設備維持工事等で工事期間が7日以内のものです。

※2:協議の日程調整は、初回のみシステムで調整が可能です。

2 回目以降は、メール等により調整をお願いします。

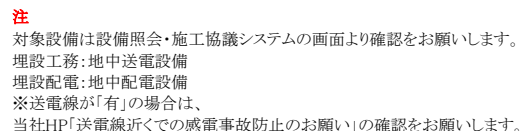
☐ :設備照会・施工協議システム内の施工通知システムで行うもの



■ 当社設備と近接する小規模以外の工事における協議フローは以下のとおりです。なお、地中送電設備は、別紙 1 も併せて参照をお願いします。

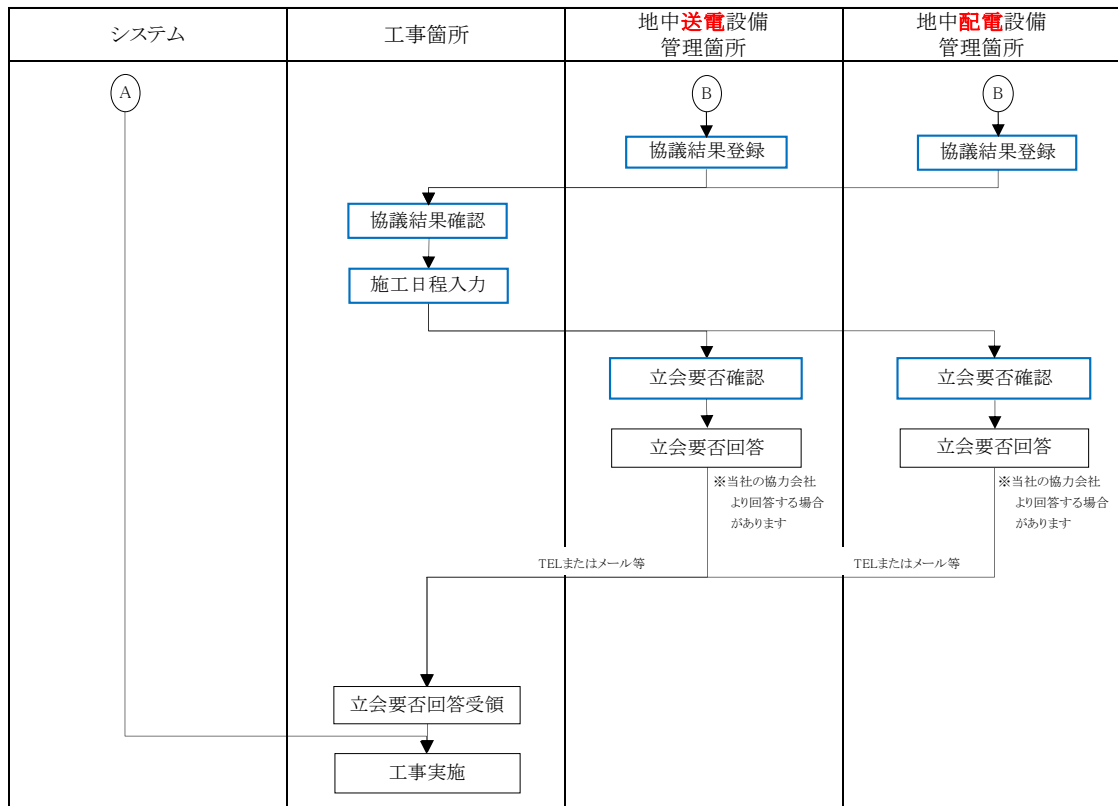
□:設備照会・施工協議システム内の設備調査で行うもの(任意)

☐ :設備照会・施工協議システム内の**施工通知**で行うもの(必須)



項目別	検索条件指定	検索履歴	検索条件指定	施工実績
No.	申請種別	受理内容	作務ステータス	工事内容
(06)	設備関係	00000046	作務ステータス	00000046 工事内容
(07)	施工通知	00000047	00000047 00000048	00000047 00000048 00000049 00000050 00000051 00000052 00000053 00000054 00000055 00000056 00000057 00000058 00000059 00000060 00000061 00000062 00000063 00000064 00000065 00000066 00000067 00000068 00000069 00000070 00000071 00000072 00000073 00000074 00000075 00000076 00000077 00000078 00000079 00000080 00000081 00000082 00000083 00000084 00000085 00000086 00000087 00000088 00000089 00000090 00000091 00000092 00000093 00000094 00000095 00000096 00000097 00000098 00000099 00000100 00000101 00000102 00000103 00000104 00000105 00000106 00000107 00000108 00000109 00000110 00000111 00000112 00000113 00000114 00000115 00000116 00000117 00000118 00000119 00000120 00000121 00000122 00000123 00000124 00000125 00000126 00000127 00000128 00000129 00000130 00000131 00000132 00000133 00000134 00000135 00000136 00000137 00000138 00000139 00000140 00000141 00000142 00000143 00000144 00000145 00000146 00000147 00000148 00000149 00000150 00000151 00000152 00000153 00000154 00000155 00000156 00000157 00000158 00000159 00000160 00000161 00000162 00000163 00000164 00000165 00000166 00000167 00000168 00000169 00000170 00000171 00000172 00000173 00000174 00000175 00000176 00000177 00000178 00000179 00000180 00000181 00000182 00000183 00000184 00000185 00000186 00000187 00000188 00000189 00000190 00000191 00000192 00000193 00000194 00000195 00000196 00000197 00000198 00000199 00000200 00000201 00000202 00000203 00000204 00000205 00000206 00000207 00000208 00000209 00000210 00000211 00000212 00000213 00000214 00000215 00000216 00000217 00000218 00000219 00000220 00000221 00000222 00000223 00000224 00000225 00000226 00000227 00000228 00000229 00000230 00000231 00000232 00000233 00000234 00000235 00000236 00000237 00000238 00000239 00000240 00000241 00000242 00000243 00000244 00000245 00000246 00000247 00000248 00000249 00000250 00000251 00000252 00000253 00000254 00000255 00000256 00000257 00000258 00000259 00000260 00000261 00000262 00000263 00000264 00000265 00000266 00000267 00000268 00000269 00000270 00000271 00000272 00000273 00000274 00000275 00000276 00000277 00000278 00000279 00000280 00000281 00000282 00000283 00000284 00000285 00000286 00000287 00000288 00000289 00000290 00000291 00000292 00000293 00000294 00000295 00000296 00000297 00000298 00000299 00000300 00000301 00000302 00000303 00000304 00000305 00000306 00000307 00000308 00000309 00000310 00000311 00000312 00000313 00000314 00000315 00000316 00000317 00000318 00000319 00000320 00000321 00000322 00000323 00000324 00000325 00000326 00000327 00000328 00000329 00000330 00000331 00000332 00000333 00000334 00000335 00000336 00000337 00000338 00000339 00000340 00000341 00000342 00000343 00000344 00000345 00000346 00000347 00000348 00000349 00000350 00000351 00000352 00000353 00000354 00000355 00000356 00000357 00000358 00000359 00000360 00000361 00000362 00000363 00000364 00000365 00000366 00000367 00000368 00000369 00000370 00000371 00000372 00000373 00000374 00000375 00000376 00000377 00000378 00000379 00000380 00000381 00000382 00000383 00000384 00000385 00000386 00000387 00000388 00000389 00000390 00000391 00000392 00000393 00000394 00000395 00000396 00000397 00000398 00000399 00000400 00000401 00000402 00000403 00000404 00000405 00000406 00000407 00000408 00000409 00000410 00000411 00000412 00000413 00000414 00000415 00000416 00000417 00000418 00000419 00000420 00000421 00000422 00000423 00000424 00000425 00000426 00000427 00000428 00000429 00000430 00000431 00000432 00000433 00000434 00000435 00000436 00000437 00000438 00000439 00000440 00000441 00000442 00000443 00000444 00000445 00000446 00000447 00000448 00000449 00000450 00000451 00000452 00000453 00000454 00000455 00000456 00000457 00000458 00000459 00000460 00000461 00000462 00000463 000

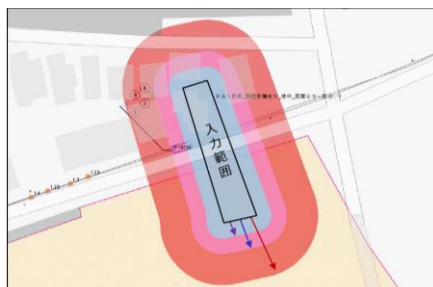
- :設備照会・施工協議システム内の埋設物調査システムで行うもの
 :設備照会・施工協議システム内の施工通知システムで行うもの



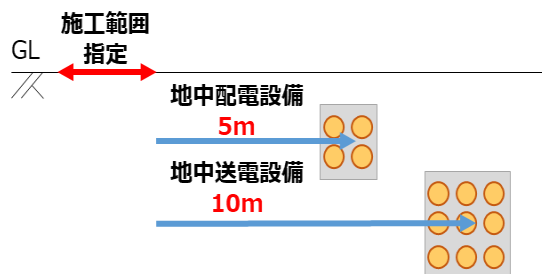
5. システム入力時の注意事項

- 設備照会・施工協議システムの設備調査(施工範囲指定)は、平面上で施工範囲指定位置から一定の距離内(※)に当社設備があった場合に、「支障あり」と判定します。

※地中送電設備:離隔 10m 以内, 地中配電設備:離隔 5m 以内



地図システム画面

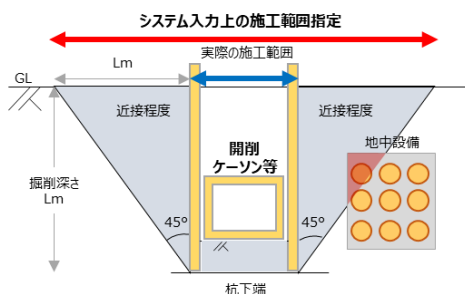


支障判定の概念

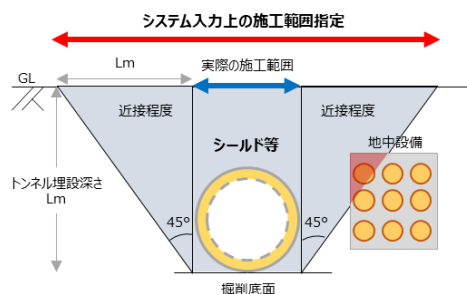
- 上記判定は、「影響範囲を含めた支障判定」では無いため、既設構造物調査(施工範囲指定)時は原則、以下の考え方で影響範囲を含めた施工範囲指定をお願いします。

・開削, ケーソン等の場合 : 杭の下端から 45 度の範囲

・シールド等非開削の場合: 掘削底面から 45 度の範囲



システム入力上の施工範囲指定(開削・ケーソン等)



システム入力上の施工範囲指定(シールド等)

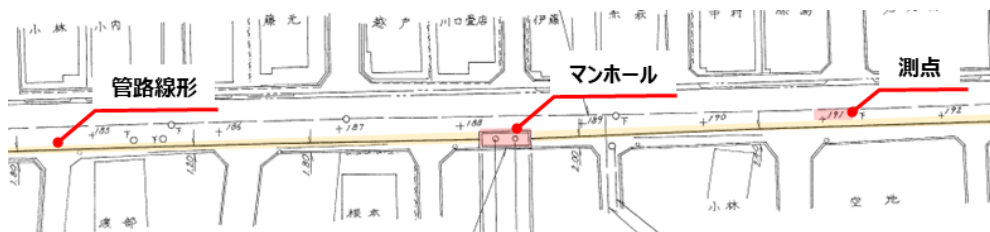
6. 当社が提供する図面の見方

6-1. 地中送電設備の図面

- システムより提供する図面は、施工範囲指定した平面図と建設時の平縦断図を送付します。

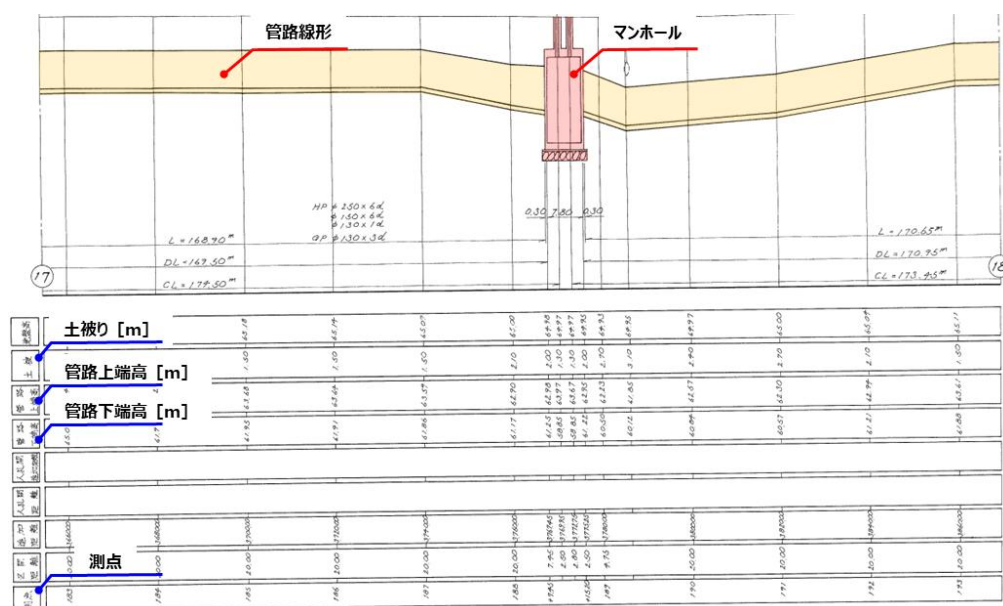


システム上で施工範囲指定した図



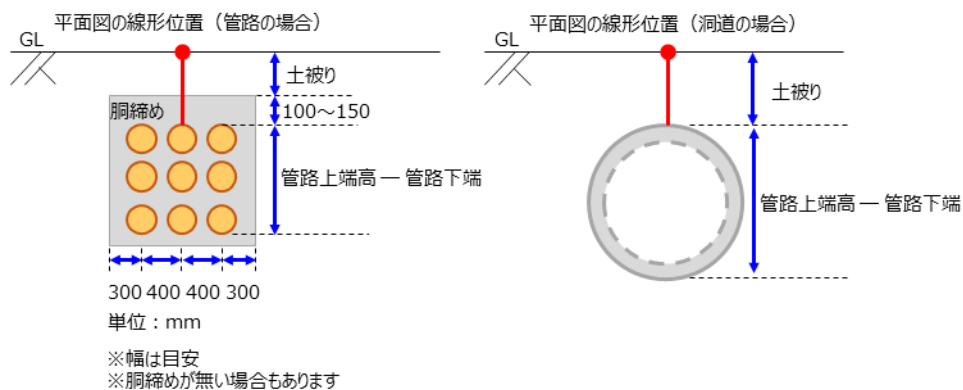
建設時に作成した平面図

- 縦断図は、建設時に作成した図を送付します。建設時に作成した図であるため、その後の周辺工事等により、土被りが変更になっている場合があります。
また、縦と横の比が異なっているため、実際の線形よりも急勾配となっているため、傾斜角度等は、管路上端高と管路下端高から確認をお願いします。



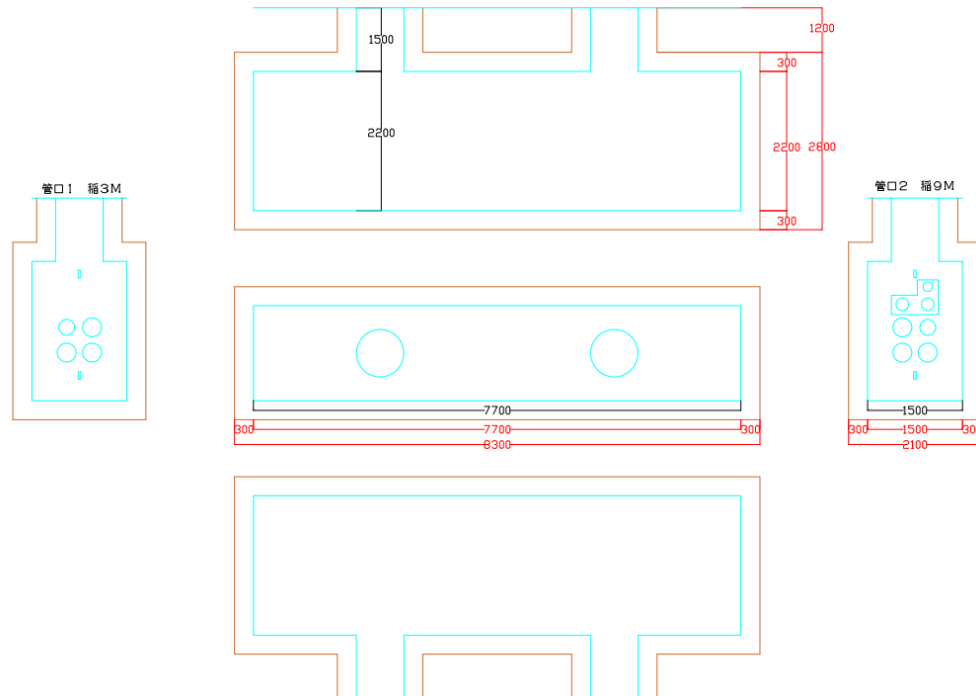
建設時に作成した縦断図

- 平面図で埋設位置を示している線は、設備の中央を基準に描画しているため、管路が複数埋設されている箇所は管路条数分の幅があります。縦断図では、土被りおよび設備の高さを確認可能です。



- マンホール展開図は内空寸法であるため、設計時は躯体厚の考慮をお願いします。

— 当社から提供する図面の寸法
— 実際の寸法

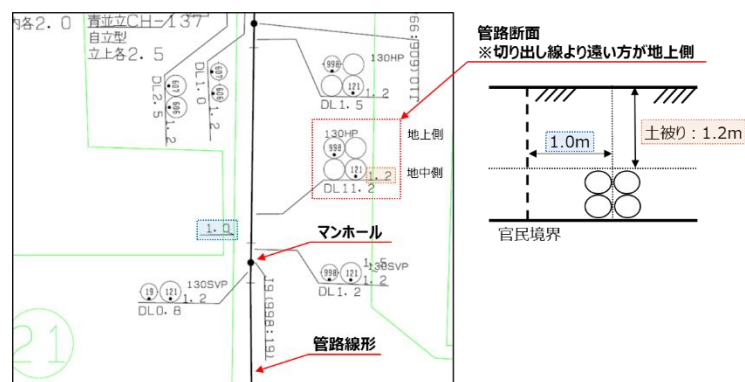


マンホール展開図

設備種類	考慮すべき躯体厚(標準) [mm]
洞道	200～300
マンホール	250～300

6-2. 地中配電設備の図面

- 管路の埋設位置および土被りを確認できる平面図を送付します。なお、埋設位置を示している線は、設備の中央を基準に描画しているため、管路が複数埋設されている箇所は管路条数分の幅があります。



平面図

7. 当社が提供する図面に対する注意事項

- 支障判定結果で地中配電設備が「有」の場合、およびシステムより自動で提供する設備図面が無い場合、ならびに提供された図面内に当社マンホールがある場合は、当社へ確認の連絡をお願いします。
- 当社が提供する設備図面は基本的に内空寸法です。
- 当社が提供する埋設物位置情報(竣工図等)は、埋設物の概略位置を示す参考情報であり、正確な位置・深さを保証するものではありません。
- 工事にあたっては、当該情報に基づき支障の可能性を判断いただき、近接が想定される場合は、測量や試掘、探査等による現状把握をお願いします。
- 測量や試掘、探査等による現状把握が難しい場合は、不正確であることを考慮した線形として管理いただくようお願いします。
- 図面に記載が無い場合でも残置物が存在する可能性があります。

8. 当社設備との標準離隔

- 当社設備との標準離隔は下表の離隔を確保した設計をお願いします。
なお、標準離隔が確保できている場合でも測量や影響検討を依頼する場合があります。
当社設備が開削設備か非開削設備であるかは、当社社員へ確認をお願いします。

施工工種	当社地中送電設備との標準離隔 [mm] (): 当社設備の土被りが 5,000mm 以上の場合	
	当社開削設備との離隔	当社非開削設備との離隔
杭打・ボーリング	300 (500)	2D 以上 (D=当社設備の外径)
建柱	300 (500)	
薬液注入	300 (500)	
薬液注入 (高圧噴射)	500	
推進・シールド	2D 以上 (D=推進等の外径)	

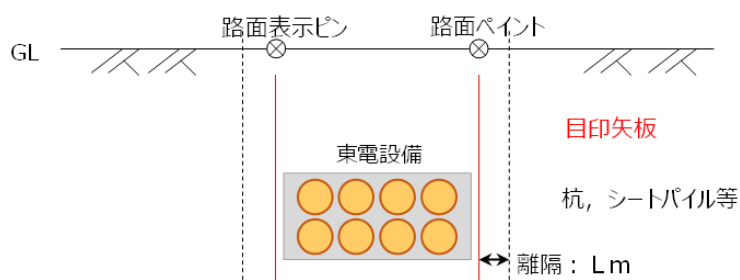
9. 協議における注意事項

- 「都市部近接施工ガイドライン(一般社団法人 日本トンネル技術協会)」に基づき近接程度の判定をお願いします。対象設備は、別紙 3 を確認をお願いします。
- 近接程度の判定結果が「要検討範囲」となった場合は、起因者にて影響度を検討いただいた後に当社と協議をお願いします。影響度によっては設備の変状計測管理・立会・防護措置(地盤改良等)を依頼する場合があります、6ヶ月～数年程度の協議期間を要するため、早期の協議開始をお願いします。(計測管理等の費用は起因者負担となります)

- シールドトンネル工事・薬液注入等で当社設備の支障防護(管路導通点検・管路水循環・マンホール点検等)が発生する場合は、6ヶ月以上の準備を要す可能性があるため、早期に依頼文書の提出をお願いします。(費用は起因者負担となります)
- 掘削により当社設備が露出する場合は、「当社設備の脱落防止のための吊り防護措置」や「不等沈下防止のための受け防護措置」を依頼する場合があります。(費用は起因者負担となります)
- 杭打・薬注(地盤改良)・ボーリング(探査含)・推進(非開削)・吊り受け防護の設計協議は、2ヶ月前迄に、施工協議は、施工日の2週間前迄に協議をお願いします。
- 施工内容に変更が生じた場合は、当社と再度協議のうえ施工をお願いします。追加の補助工法が必要となった際も同様です。

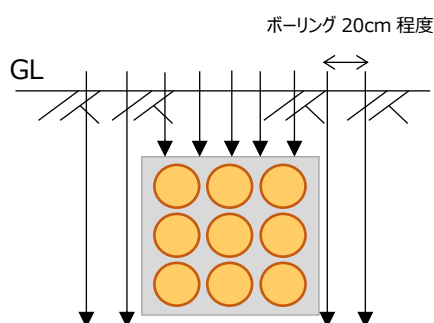
10. 当社設備の現状把握

- 事前に試掘・布掘等により当社設備の現状把握をお願いします。
※当社設備の確認が出来ていない場合、施工を中止していただく場合があります。
- 試掘・布掘時は目印用ガイドの埋め込みと路面表示(マーキング等)をお願いします。



- 土被りが深く露出確認が困難な場合は、探査ボーリング(プラスチックビット)で確認をお願いします。なお、探針は1箇所につき5回程度とし、3回目以降は荷重をかけないようお願いします。

また、探査で何かに当たったとしてもそれが当社設備とは限らないため、20cmピッチ等で数ヶ所実施をお願いします。



弊社での実証試験結果

- (1) PFP管(強化プラスチック複合管)
 - ・自重落下5回 深さ3.6mm 損傷
 - ・人力打撃5回 貫通損傷
- (2) HP管(遠心鉄筋コンクリート管)
 - ・自重落下5回 深さ3.2mm 損傷
 - ・人力打撃9回 貫通損傷

- 開削・非開削工事に関わらず、削孔・掘削・杭打ち・補助工法等を行う場合は、離隔距離に応じて当社設備坑内からの位置測量または管内ジャイロ測量を依頼する場合があります。詳細は別紙2の確認をお願いします。（費用は起因者負担となります）
- 橋梁付近では、当社設備の埋設深さが浅くなっているため、カッター、ブレーカーで舗装を壊す場合は、現状把握を十分実施のうえ施工をお願いします。

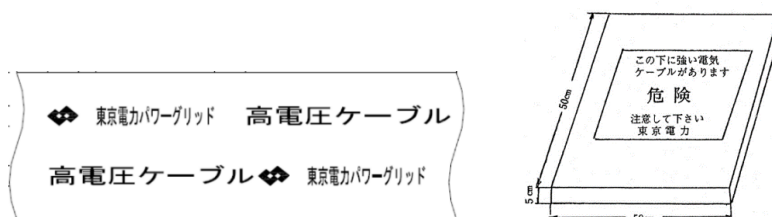
11. 協議証の掲示と立会・パトロール

- 協議証は、工事範囲内の分かりやすい箇所へ掲示をお願いします。

協議証

東京電力パワーグリッド株式会社 協議済証書	
工事件名：	
受付番号：	受付年月日：
東京電力PGと設備の保安措置について、下記条件の元に協議を行ったうえ施工されています。	
協議対象：■埋設設備（配電） ■埋設設備（工務） ■送電線	
工期：	
工事概要：	
工事場所：	
小規模工事：非該当	
工事内容：■掘削 □配管 □布設 □本復旧 □推進 □杭打 □薬液注入 □建物建込 □試験 □その他（ ）	
切削または舗装の打ち替え工事：あり 特殊工法（ホーリング、杭打、薬液注入、非開削、コア抜、管路様）：なし 特殊施工（管路希受防護、マンホール箱防護、マンホール受防護）：なし 建設機械の使用（クレーン、ショベルカー、トラッククレーンなど）：あり 航空機の使用（ヘリコプター、ドローンなど）：なし 長尺物を使用した作業（単管パイプなど）：なし	
重機有無：あり	
重機種類：■クレーン（10m未満） □クレーン（10m～30m未満） □クレーン（30m以上） □ショベルカー □ホイールローダー □杭打機 □穴掘建柱車 □その他（ ）	
道路区分：■国道 □都道・県道 □区道・市町村道 □私道 □その他（ ）	
歩車道区分：■車道 □歩道 □その他（ ）	
道路名：	
緊急の場合は最速問わず、下記までご連絡ください。 東京電力パワーグリッド株式会社	

- 立会やパトロール時に当社または委託先から指示する場合がありますので従ってください。
埋設シート・防護板を追加設置していただく場合があります。
※埋設シート・防護板は、立会員より支給します。



- 当社設備に影響を及ぼす恐れがあると判断した場合、工事の中止を要請する場合があります。この場合は直ちに工事を中止し再協議をお願いします。

12. 作業中止や工程変更等の連絡

- 施工連絡および作業中止や工程変更時は、当社 HP に掲載の事業所住所一覧に記載された連絡先へ連絡をお願いします。

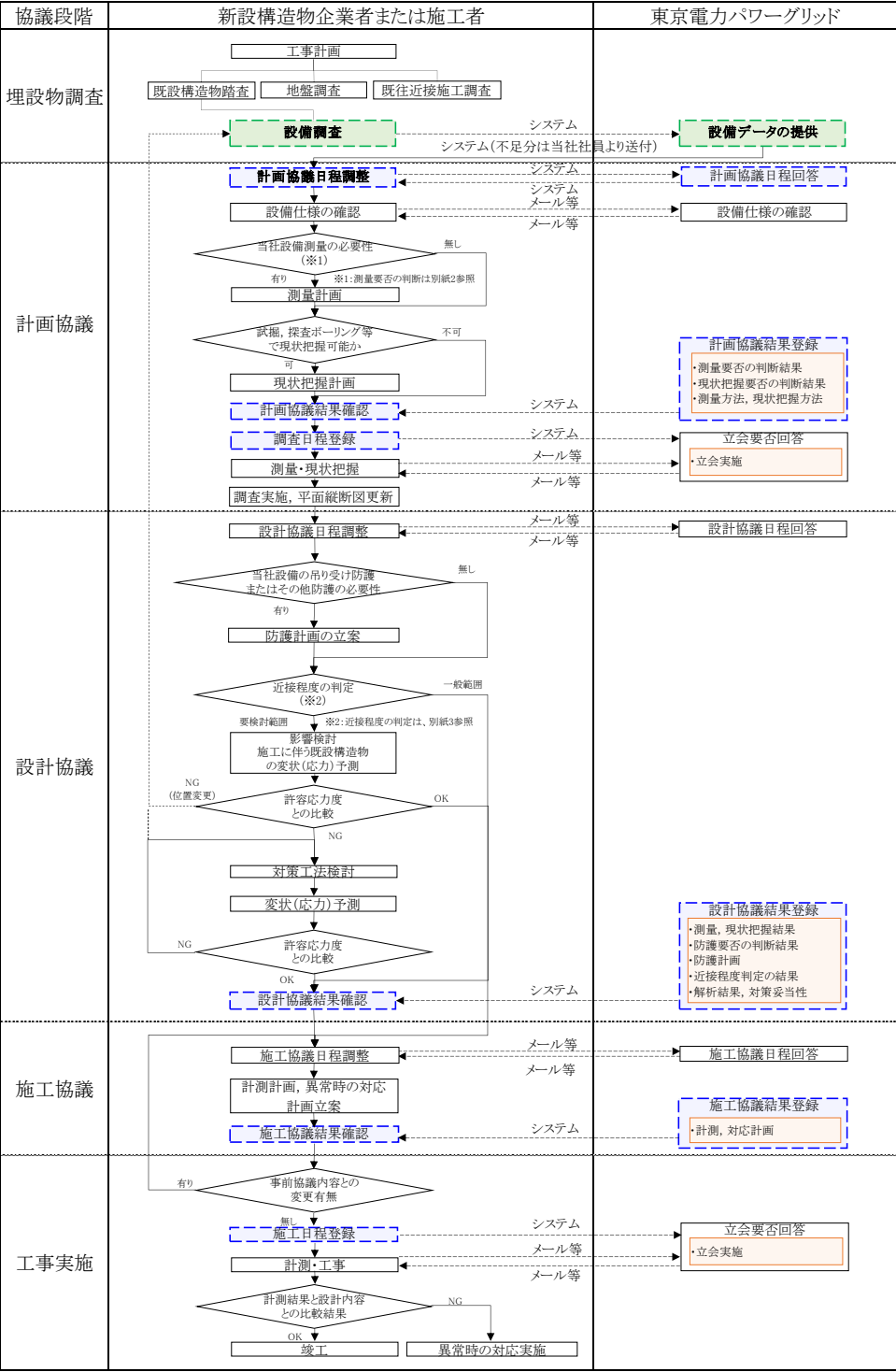
施工連絡および作業中止や工程変更時の連絡期日	
昼間施工分	前日の午前中まで
夜間施工分	当日の午前中まで
土日祝日施工分	休祝日前日の午前中まで

13. その他

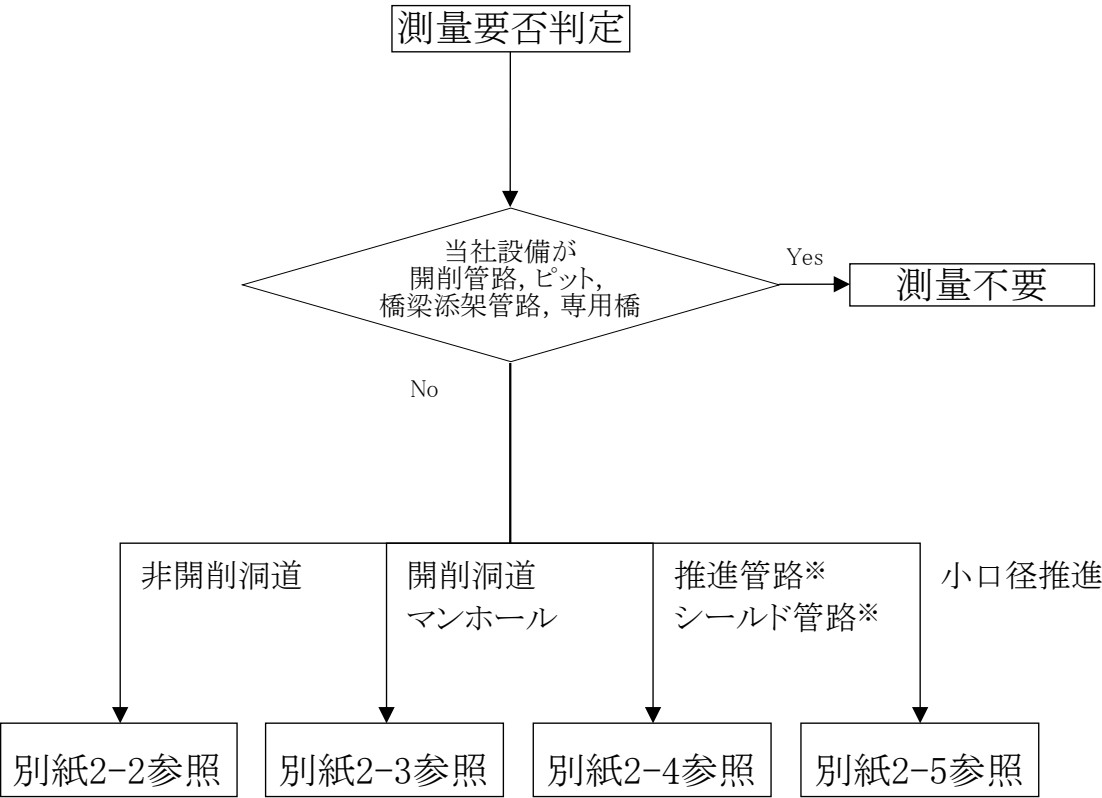
- 下請施工者に任せた工種等は無連絡が多く発生しますので、工程把握を確実にして下さい。
- 以下のガイドラインに従い調査・設計・施工を行っていただくようお願いします。
 - ・近接施工:都市部近接施工ガイドライン
 - ・シールドトンネル工事:シールドトンネル工事の安全・安心な施工に関するガイドライン

別紙 1. 埋設物調査、計画・設計・施工協議、立会確認フロー(小規模工事以外)

■:設備照会・施工協議システム内の設備調査システムで行うもの
■:設備照会・施工協議システム内の施工通知システムで行うもの
■:当社社員が確認を行うもの

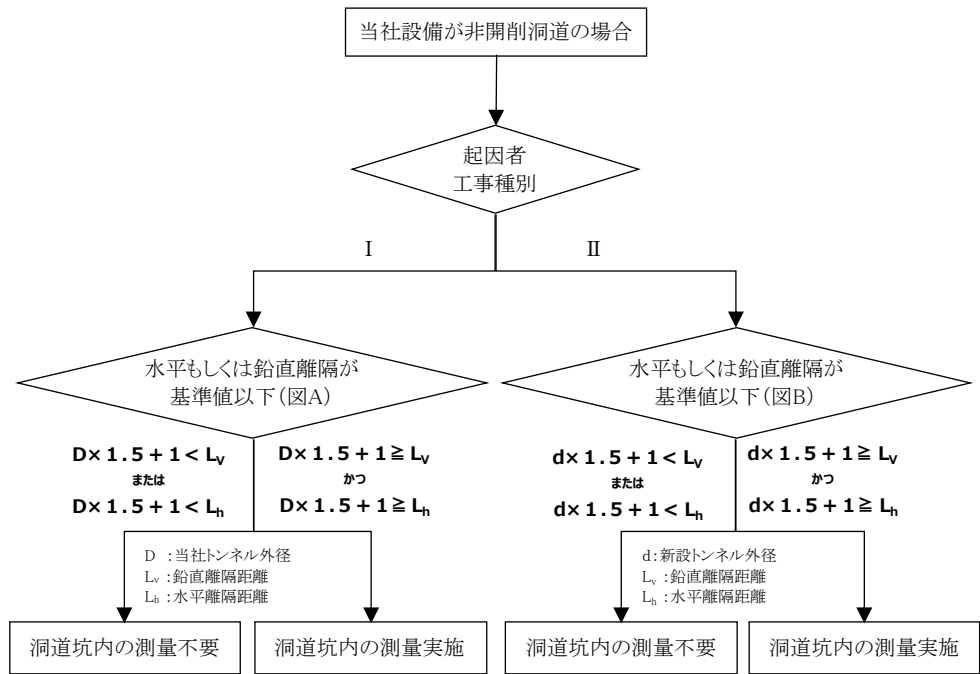


別紙 2-1.測量要否(全体フロー)



※推進管路, シールド管路とは, 内部を流動化処理土等により中詰めされた設備を指す
(詳細は当社との協議時に確認をお願いします)

別紙 2-2. 測量要否(非開削洞道)

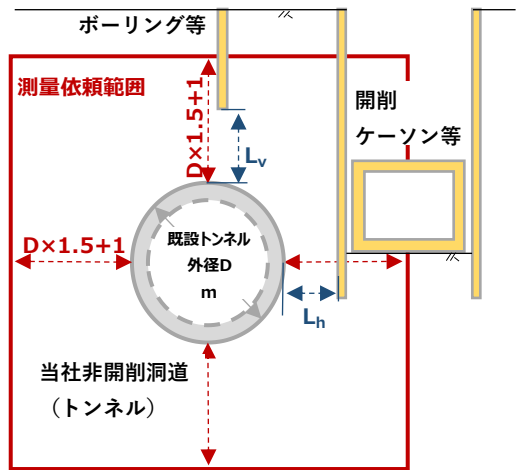


【工事種別】

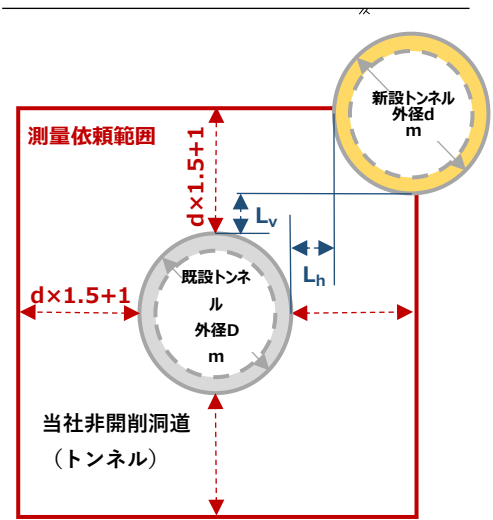
I : 構築工①(開削工法, ケーソン工法, その他構築工に必要な杭打ち, 杭抜き工等)
調査工(ボーリング工, 試掘工等)
補助工法(薬液注入工, 地盤改良工, 凍結工, 地下水位低下工等)
※補助工法は削孔外径位置より算定

II : 構築工②(シールド工法, 推進工法, 山岳トンネル工法等)

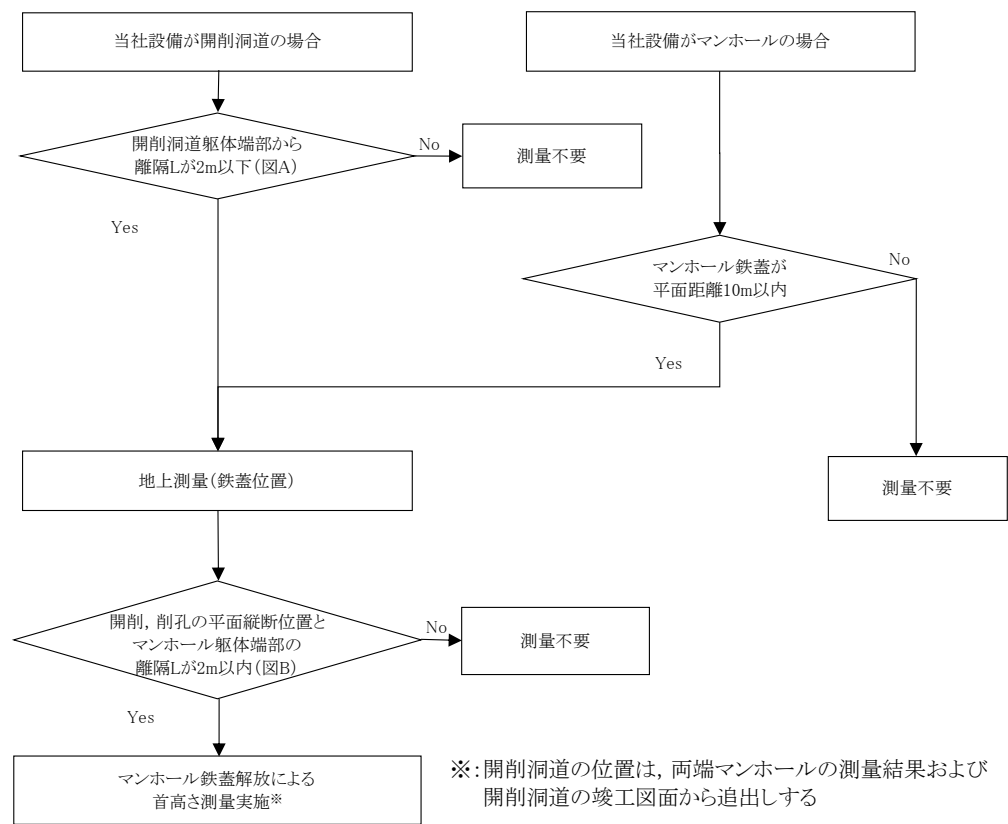
A) 起因者工事が I の時



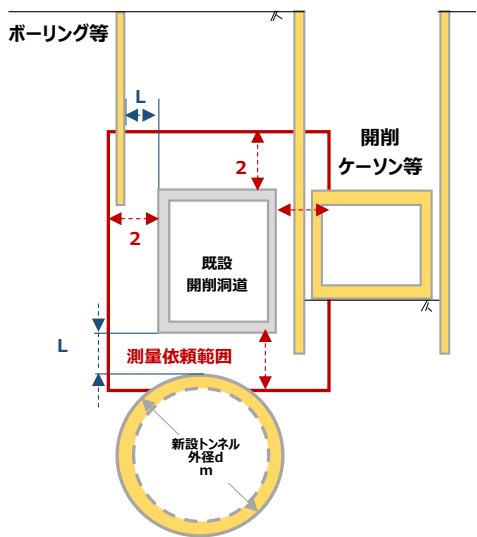
B) 起因者工事が II の時



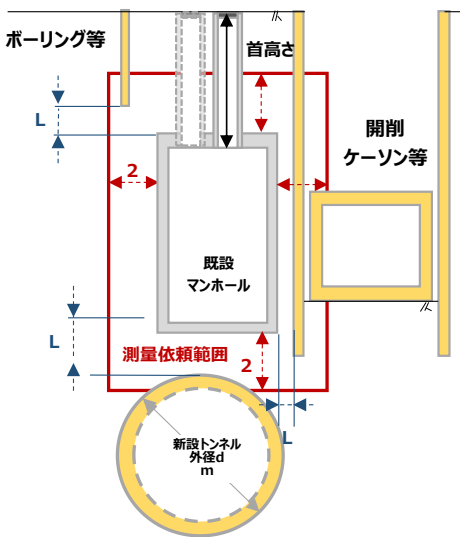
別紙 2-3.測量要否(開削洞道・マンホール)



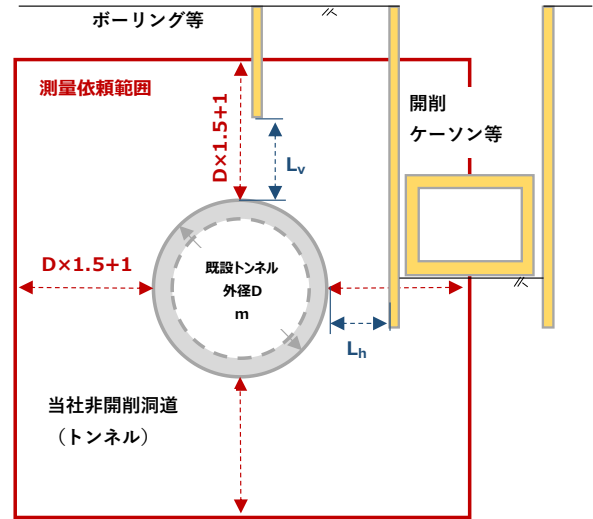
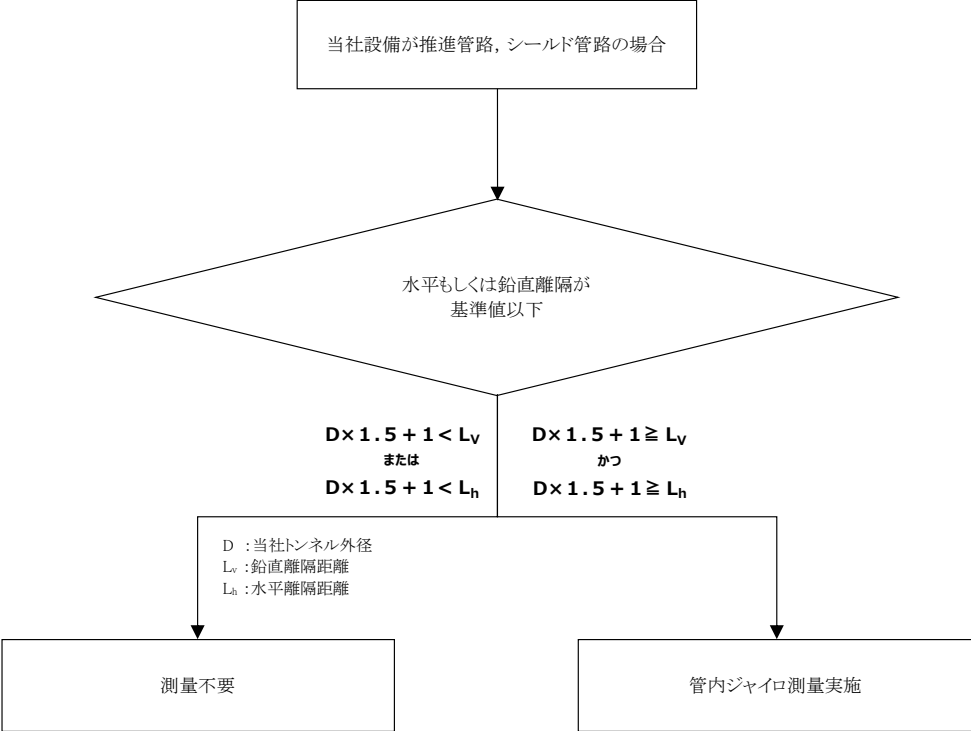
A) 開削洞道の測量基準



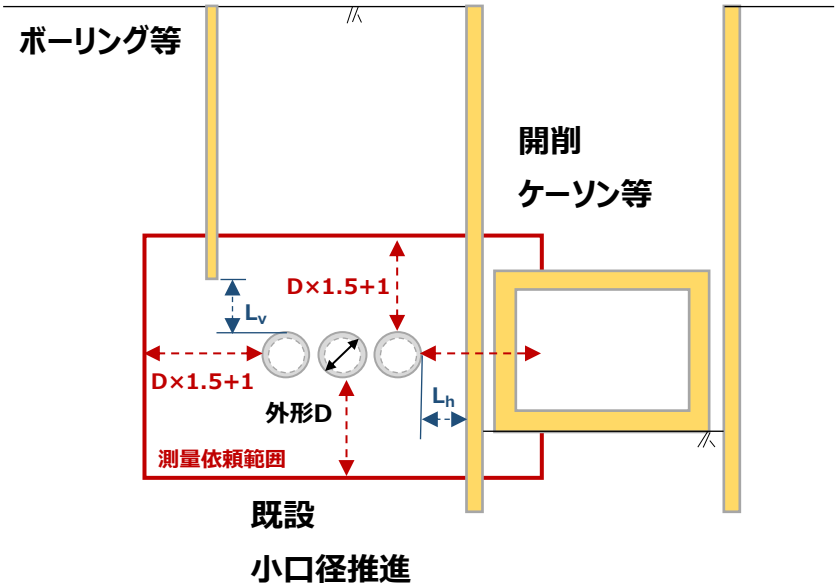
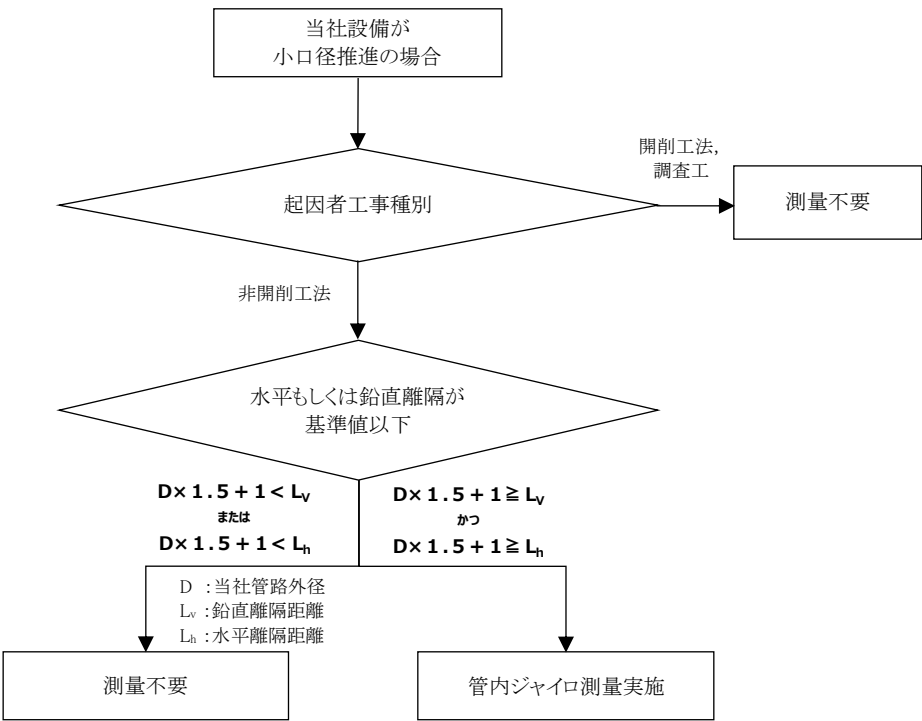
B) マンホールの鉄蓋開放による測量基準



別紙 2-4.測量要否(推進管路, シールド管路)

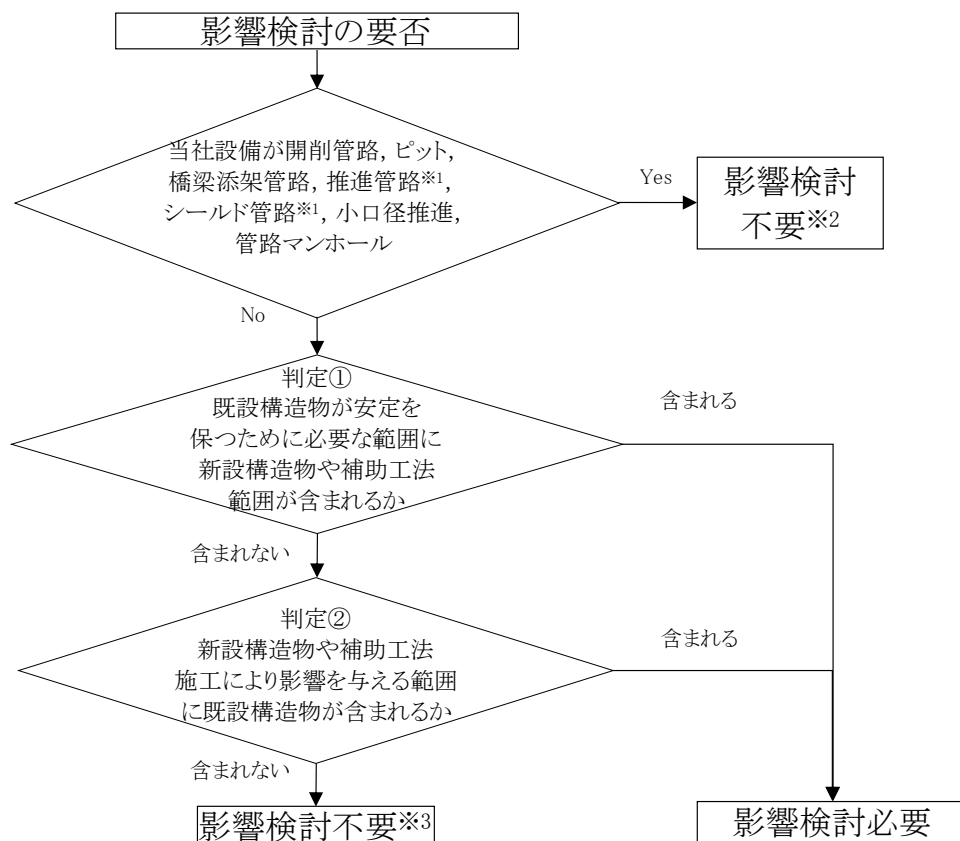


別紙 2-5.測量要否(小口径推進)



別紙 3.影響度検討要否(全体フロー)

判定①, ②は,「都市部近接施工ガイドライン(一般社団法人 日本トンネル技術協会)」に基づき近接程度の判定をお願いします



※1: 推進管路, シールド管路とは,
内部を流動化処理土等により中詰めされた設備を指す
(詳細は当社との協議時に確認をお願いします)

※2: 並走や近接程度等, 変位量が大きいと予測される場合に
FEMを依頼することもあります。±30mmの変位量を基準に確認します。

※3: トンネルの上越、地下水位低下工法、盛土、切土、支持杭の先端付近などに
既設設備があって、影響を受ける可能性がある場合は、影響検討を依頼する場合があります。